

香川いのちのリレー財団だより



香川県高松市番町 4-1-10 (香川県医務国保課内)

tel 087-832-3315 fax 087-806-0248

ホームページ <http://www.inochi-relay.jp/>

発行者：公益財団法人香川いのちのリレー財団

令和 2 年 10 月発行



〈臓器搬送訓練の様子〉

10月は臓器移植普及推進月間です。

臓器提供の
意思表示を



運転免許証の意思表示欄(例)



その他に、健康保険証・マイナンバーカード・インターネット登録サイトにて意思表示ができます。

ごあいさつ

公益財団法人香川いのちのリレー財団 理事長 土岐 敦史

臓器移植の推進につきまして、日頃から、当財団の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成9年に臓器移植法が施行されて20年以上が経過し、この法律に基づいた臓器の提供は、昨年1年間に全国では脳死下で97名、心停止下で28名、あわせて125名の方からあり、臓器の移植は480件行われました。香川県では臓器提供はありませんでしたが、臓器の移植は3件行われました。

一方、移植を希望して待機しておられる登録者は、令和元年度末現在、腎臓だけでも全国で約13,000名、香川県では150名となっており、多くの方の希望がかなえられない状況が続いています。

このような中、当財団では県や日本臓器移植ネットワークと連携し、臓器移植に関する正しい知識の普及啓発、臓器提供意思表示の促進及び院内体制の整備、移植希望登録者の検査費用の助成などに取り組んでおります。

令和2年度は前年度に引き続き、臓器提供の医療者向け教育プログラムによる実践的な研修などを通して院内体制の整備を重点的に進めるとともに、学校等での講演や10月の臓器移植普及推進月間を中心とした広報など、更に積極的な普及啓発活動を行ってまいります。

今後とも、医療機関や関係団体のご協力はもとより、県民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



香川県から院内コーディネーターを委嘱されました



高麗 雅章
(四国こどもとおとなの医療センター)



中村 健太郎
(香川大学医学部附属病院)



三宅 啓介
(香川大学医学部附属病院)



中川 香織
(香川大学医学部附属病院)



池田 圭司
(香川県立中央病院)



松本 樹
(香川県立中央病院)



竹田 和道
(香川労災病院)



新堂 敦
(高松赤十字病院)



市原 朋子
(高松赤十字病院)



大嶋 和代
(高松赤十字病院)



光宗 仁美
(高松赤十字病院)



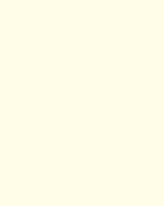
香西 節子
(高松赤十字病院)



宮本 明子
(さぬき市民病院)



藤邨 往代
(おさか脳神経外科病院)



(敬称略)

院内コーディネーターとして、移植医療に貢献できるように普及啓発活動を行いたいと思っています。

臓器提供に対する思い



香川大学医学部附属病院 救命救急センター 中村 健太郎

「臓器提供は可能でしょうか？」

ご家族のこんな言葉から私の移植医療との関わりは始まりました。救急・集中治療に携わって8年ほどが過ぎた初夏の出来事でした。救急医療の現場に従事しながら、当時の私は自分自身が移植医療に関わるとは想像すらしていませんでした。旅先での不慮の事故。最愛の人を襲った突然の不幸。医療者から突き付けられる厳しい現実。やり場のない気持ちと向き合う中で、ご家族が出した結論が臓器提供という選択でした。自分よりも常に人のことを優先させてきた他人思いの妻。いつも優しくかった母。彼女ならきっと最期まで「誰かのために」という思いを抱き続けているだろう。悲しみと向き合う中、ご家族の総意で臓器提供という苦渋の決断をされました。それからチーム一丸となり、ご家族に寄り添いながら、一臓器でも多くレシピエントに届けられるよう懸命な管理を行いました。来院から10日目の早朝、5名のレシピエントの元へと彼女の臓器は旅立って行きました。数年が過ぎた今現在もレシピエントの方々はお元気に過ごされていると伺っています。縁あって、2年ほどが過ぎた頃ドナー家族を訪ねました。そこには癒えることのない悲しみを抱えながらも前を向いて生きているご家族の姿がありました。厳しい状況の中で最善の医療が提供できた、そう思えるようなことを聞くことができました。臓器提供はドナーの最期の思い、レシピエントのための医療として語られることが多いですが、同時に遺されるご家族の未来に光を照らす、そんな側面も兼ね備えていることをこの患者さんとの出会いを通して感じるようになりました。

前任地でこの症例を含む3例の臓器提供に関わる機会があり、その経験を元に現在も様々な場でお話しさせていただく機会を頂いております。そのような背景から、本年4月より院内コーディネーターを拝命することとなりました。未熟な立場ではございますが、これまでの経験を活かし、皆様に貢献できるよう精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

院内コーディネーターを受嘱して



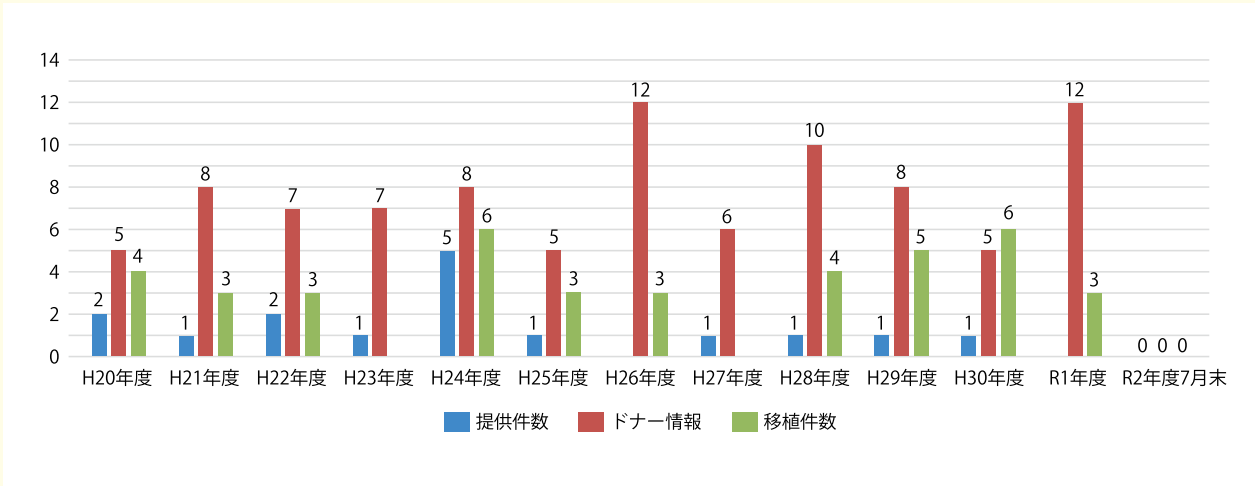
おさか脳神経外科病院 看護副師長 藤 邨 往 代

おさか脳神経外科病院は、24時間体制で主に急性期の脳卒中の治療を行っている民間病院です。日本脳神経外科学会の研修施設として脳死下臓器提供可能施設に認定され、過去には心停止後の腎臓・角膜提供を行っています。

私は、今年度より、院内コーディネーターを受嘱することになりました。移植医療に携わりたいと思ったきっかけは、2年前上司の勧めで臓器移植ワーキンググループ会議の研修に参加したことです。この研修会は、『終末期にある患者家族ケア』という内容でした。クモ膜下出血で救急搬送され、治療を尽くしたけれど終末期の状態となった患者の事例を通して、救急搬送された場面から家族対応をロールプレイするというものでした。家族対応について問われた時、家族ケアをどのようにするべきか、すぐに答えられなかったことを覚えています。当院でも経験する事例であり、病気の発症から治療しても、短時間で終末期に移行することがあります。患者の救命に力を注ぐため、家族ケアに十分な時間がかけられず、家族に対して適切な支援や信頼関係が築けているのかと考えるきっかけになりました。短期間のうちに手術、集中治療室管理と容態が変化し、面会制限もされている状況で、家族は精神的に動揺し、泣き崩れ、パニック状態に陥ります。悲嘆にくれている家族に何か援助をしなければと認識しつつも、何をしたいかわからず無力感に苛まれることも多くありました。しかし、看護師は患者家族の一番近くにいる存在です。家族の精神的苦痛を少しでも緩和できるように配慮し、患者及び家族が望む意思決定ができるように支援しなければなりません。研修では看護師が実践すべき終末期ケアや支援の方法、臓器提供の情報提供時の看護師の役割を学ぶことができ、自部署の病棟でも実践できるようにスタッフの教育に取り組んでいきたいと思うようになりました。また、グループディスカッションでは、実際に脳死下臓器提供を経験した医療者の方たちの貴重な話を聞くこともできました。臓器提供の情報提供時の様子から臓器提供を終えた家族の様子を聞いて感極まったことが印象に残っています。そのディスカッションも移植医療に携わりたいと思ったきっかけです。

私は、移植医療についてまだまだ知識不足ですが、今後も積極的に研修会に参加し、学んだことを活かし院内コーディネーターとしての役割を果たせるように取り組んでいきたいと思っています。

香川県における状況(提供および移植数、ドナー情報数) [H20年4月～R2年7月末現在] (膵腎同時移植は2臓器)



香川県内の移植施設

病院名	担当科	医師	電話番号	診察日等注意事項
香川大学医学部附属病院 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	腎臓移植を希望される方		087-898-5111	火：午前 木：午後（新患対応） 金：午前 ※透析施設から地域連携室経由で診察予約が可能です。 地域連携室（Tel:087-891-2412）
	泌尿器・副腎・腎移植外科	杉元 幹史 上田 修史 田岡 利宜也		
高松赤十字病院 〒760-0017 高松市番町4-1-3	膵臓移植を希望される方		087-898-5111	火：午前 木：午前 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2412）
	消化器外科	鈴木 康之 岡野 圭一 大島 稔		
高松赤十字病院 〒760-0017 高松市番町4-1-3	腎不全外科	山中 正人	087-831-7101	月：13:00～15:00 火：14:00～15:00 木：13:00～15:00

出前講座（講師派遣）のご案内

当財団では、臓器移植をテーマに、職場の研修会や地域の会合、学生さんへの講演などに、講師を派遣しています。（無料）

お気軽にご相談ください。
お待ちしております！！



< 県立高松高等学校における講演の様子 >

～こころ温まるご支援ありがとうございます～

令和元年度は法人会員 25 法人、個人会員 14 名の皆様にご支援をいただきました。

令和元年度 賛助会員名簿 (敬称略・五十音順)

〔法人会員〕

- 淡河医院
- おさか脳神経外科病院
- 一般社団法人香川県医師会
- 一般社団法人香川県腎臓病協議会
- 医療法人圭良会 永生病院
- 医療法人讃楡会
- 医療法人社団 讃志会 花の宮クリニック・さくらの馬場クリニック
- 医療法人社団 湯浅クリニック
- 医療法人社団愛有会 岩崎病院
- 医療法人社団一真会 川人外科内科
- 医療法人社団清仁会 宇多津病院
- 医療法人社団健愛会 あきやまクリニック
- 医療法人社団ひかり会 河内病院
- 医療法人社団豊南会 香川井下病院
- 医療法人社団山本ヒフ泌尿器科医院
- 香川銀行
- 香川大学医学部附属病院
- 株式会社総合開発
- 公益財団法人 香川県児童・青少年健全育成事業団
- 公益社団法人香川県看護協会
- 四国こどもとおとなの医療センター
- 高松赤十字病院
- 高松ロータリークラブ
- 百十四銀行県庁支店
- 三豊総合病院企業団

〔個人会員〕

- 秋山 すみれ
- 秋山 祐一
- 今滝 京子
- 大西 聡
- 大畑 年
- 小川 和彦
- 中原 薫
- 南原 義秋
- 西村 周子
- 細井 佳世
- 松本 祐蔵
- 六車 文秀 ほか

ほか



賛助会員ご加入のお願い・ご案内

当財団では、臓器移植の普及推進を目的として、これまでに香川県版臓器提供意思表示カードの作成・配布や、臓器移植に関する出前講座等の啓発活動、医療関係者の研修活動等、さまざまな活動を行ってまいりました。今後、さらなる普及推進を図るためには、知識の普及啓発等について一層の取組みを行うことが重要ですが、これらの活動は、当財団だけでできるものではなく、臓器移植に対するご関心及び移植医療の必要性へのご理解に支えられてこそその活動です。

今後さらに、臓器移植を待ち望む方々のために充実した活動を続けていく所存ですので、皆様のご協力をお願いします。

【賛助会員】

- 個人会員 年会費 1口 3,000円
- 法人会員 年会費 1口 10,000円

【振込先】

- 百十四銀行 県庁支店 普通 0930735
 - 香川銀行 県庁支店 普通 1011246
- (上記2行口座名義：公益財団法人香川いのちのリレー財団 理事長 土岐 敦史)

●郵便振替

- (所定の振込用紙がありますので、ご連絡ください)

令和元年度 事業報告

1 腎臓移植に関する支援及び助成

- (1) 腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査料の助成として、14名に一人当たり助成金20,000円を交付した。
- (2) 臓器提供者の遺族を訪問して供花を贈呈した。(2件)

2 第5回香川県臓器移植連絡協議会

学識経験者、関係病院長等で構成する協議会を設置し、地域支援事業の実施について協議した。

3 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

- (1) 香川県臓器移植ワーキンググループ会議開催
院内の臓器移植体制の整備を図るため、各医療機関での問題点等について検討を行う香川県臓器移植ワーキンググループ会議を3回開催し、問題点の共有や、医療機関相互の連携を進めた。うち1回は「臓器提供ワークショップ in KAGAWA」を兼ねて実施した。
- (2) 香川県臓器移植ケーススタディの開催
- (3) 協力施設の体制整備
医療機関が実施する脳死下臓器提供シミュレーション・院内勉強会の開催、院内マニュアルの作成等に対し、積極的な支援を行い、院内体制の整備を進めた。また、グリーンカラーのカレンダーやクリアファイルにドナー情報用全国共通連絡先等を記載し作成、関係医療機関へ配布した。
- (4) 患者個票調査
16枚の患者個票を収集し、臓器移植ワーキンググループ会議でデータの事例検討を行った。
- (5) 日本臓器移植ネットワーク主催の研修会等への参加等

4 臓器移植等についての普及啓発

- (1) 香川県臓器移植コーディネーターによる出前授業・講演等の実施
香川県警察学校や高校・看護学校等においての出前授業や、関係団体の会議や香川県立病院の新人研修等において講演を行い、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
- (2) 臓器移植普及推進イベント、キャンペーンの実施
臓器移植普及推進月間(10月)を中心に、イベントやキャンペーンを実施するなど、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
グリーンライトアップ(高松シンボルタワー)、じんけんフェスタ2019への参加、東かがわライオンズクラブ主催 意思表示カード配布運動、香川県腎臓病協議会主催臓器移植推進キャンペーン(県内4か所) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、香川県運転免許センターにおける普及啓発、香川県慢性腎臓病対策協議会主催世界腎臓 DAY in かがわでの普及啓発は中止。
- (3) 臓器提供意思表示カード付きのリフレット等の配布
出前授業・講演・イベント・キャンペーンのほか、県内の成人式、香川県臓器移植ワーキンググループ会議参加施設、香川県運転免許センター、県立病院新規採用看護師、コンビニ等に、臓器提供意思表示カード付きリフレットや、小冊子「移植関係者の手記」等の普及啓発物品を配布した。
- (4) 広報活動
美容室の待合室にシントランスプラント合併号を設置したほか、県庁舎内県民ギャラリーでのポスター展、高松シンボルタワー内ビジョンで普及啓発映像集の上映、ことでんバス・大川バスの車体にグリーンリボンステッカーを貼付、県政ラジオや県政テレビ「サン讀かがわ+」に出演するなど幅広く広報啓発を行った。

5 その他

財団だより 第14号 300部発行

令和2年度 事業計画

1 腎臓移植に関する支援及び助成

- (1) 組織適合性検査費用の助成(1人20,000円)
- (2) 臓器提供者のご遺族への供花等の贈呈

2 臓器移植に関する関係機関との連絡調整

- (1) 院内体制整備
各医療機関内で、提供事例発生の際に院内コーディネーターが関係部署と円滑に連携が図れるよう、院内マニュアルの作成や改訂、シミュレーション・研修会の開催を支援し、より多くの医療関係者が臓器提供の意思確認を行い、ドナーや家族の意思が尊重されるよう支援する。
- (2) 臓器移植ワーキンググループ会議の開催(年3回)
各医療機関での問題点等の共有及び連携を図る。うち1回は「臓器提供ワークショップ in KAGAWA」を兼ねて実施する。
- (3) 患者個票調査
各施設からドナーとなりうる患者の医学的データの収集を行い、今後の症例発生時に適切な対応ができるよう、臓器移植ワーキンググループ会議で事例検討を行う。

3 臓器移植に関する知識の普及啓発

- (1) 臓器移植普及推進月間(10月)
主要施設のグリーンライトアップを中心に、県広報テレビ番組やラジオ番組等による広報、電子看板でのCM放映、関係団体と協力した臓器提供意思表示説明用リフレット、パンフレット、ポスター等の配布を行う。
- (2) 臓器移植コーディネーターによる説明会等の実施
県民を対象に臓器移植コーディネーター等による説明会等を実施する。また、県内の高校、看護学校等の生徒、教員を対象とした出前授業を開催し、臓器移植に関する知識の普及啓発に努める。
- (3) ことでん車両・シンボルタワーを利用した普及啓発
10月の臓器移植普及推進月間にあわせ、ことでん琴平線の車両に普及啓発広告等をラッピングする。シンボルタワーにおいてもグリーンライトアップ点灯式を開催し、幅広い年齢層への普及啓発を行う。
- (4) 香川県運転免許センターでの普及啓発
臓器移植に対する関心をもっていただけよう、ポスター、パンフレット、意思表示説明用リフレット等の掲出、設置などを継続して行い、運転免許証の裏面の意思表示欄の記入促進に努める。
- (5) 県庁舎での普及啓発
年間を通して、県庁舎内にて掲示物等を用いて職員や来庁する県民に対して啓発活動に努める。
- (6) 香川県臓器移植連絡協議会の開催
県内の臓器移植関係者(移植施設、提供施設、民間団体、県臓器移植コーディネーター等)で構成する香川県臓器移植連絡協議会を開催し、院内体制整備の充実と臓器移植の普及啓発を推進するための協議を行う。
- (7) 機関誌の作成等
財団の機関誌の作成、賛助会員への配布、ホームページでの掲載を行う。



さまざまな普及啓発活動を実施しています



10月は臓器移植普及推進月間です。 『高松シンボルタワー グリーンライトアップ』実施

ご家族やあなたの大切な方と、いのちのことや臓器移植について話すきっかけになることを願って、高松シンボルタワー棟を、移植医療のシンボルである「グリーンリボン」にちなんで、グリーンにライトアップします。

点灯式/令和2年9月30日(水) 18:00 高松シンボルタワーデッキスガレリアにて
点灯期間/令和2年9月30日(水)～令和2年10月31日(土) 18時から22時
点灯場所/高松市サンポート 2-1



ことでん電車ラッピング(琴平線)

運行期間/令和2年10月1日(木)～令和2年10月31日(土)
路線/琴平線



さぬき市民病院 病院祭 臓器移植のブースを設置

来場者にクイズを答えてもらいました

香川県臓器移植ワーキンググループ会議等 活動報告

臓器移植医療に関する諸問題について、情報交換や研究・協議を行い、県内の臓器移植医療体制の強化を図り、適切な臓器移植医療を推進するため、「香川県臓器移植ワーキンググループ」を設置しており、昨年度は3回開催しました。2月23日の研修会では、「終末期患者の思いに応えるワークショップ」を開催しました。この研修会では、救急・集中治療領域における終末期の患者家族に対する家族ケアについて、講義やグループワーク等の実践的なプログラムを実施しています。



<終末期患者の思いに応えるワークショップの様子>



<高松市みんなの病院研修会の様子>

臓器移植に関するお問い合わせをお受けします。



公益財団法人 香川いのちのリレー財団
☎ 087-832-3315 平日8:30~17:15



公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
☎ 0120-78-1069 平日9:00~17:30

臓器提供意思登録

モバイルサイト
からも意思登録
できます。



登録はこちらから

